

精神科医療機関におけるリカバリー志向活動の現状と課題、展望に関するアンケート ～コンボ『こころの元気+』のグループ活用の可能性に関連して～

●●まず貴院・貴診療所（貴院）のリカバリー志向活動の現状についてうかがいます●●

※「貴院・貴診療所」を、以下では「貴院」呼ばせて頂きます。

近年、精神保健医療福祉の領域では、世界的に「リカバリー」の考え方が、病気からの回復だけでなく、人それぞれの「生き方や人生を取り戻すこと」や「主体性の回復・暮らしの回復」という観点から重視されるようになりました。精神障害の当事者それぞれの「リカバリー」を実現する精神保健医療福祉サービスは、「リカバリー志向サービス」として注目され、社会からも求められるようになりました。

問1 まず最初に、「リカバリー」に関して、以下のことをご存じでしょうか。ご存じのことすべてに○印をつけてください。

- 1) 精神障害のある人の希望や夢、将来に対する楽観性を重視する
- 2) 精神障害のある人の自分らしさや、人生における意味に焦点を当てる
- 3) リカバリーは、その人が自分の人生における重要な決定や選択する主導権を持つことを重視する
- 4) 生活の中の有意義な役割や目標をもつことを重視する
- 5) 精神障害のある人の長所や強みに焦点を当てる
- 6) リカバリーの歩みは一人ひとり違い、リカバリーを支える最善の方法は人によって異なる
- 7) 精神障害の経験者（ピア）は、他の精神障害のある人のリカバリーに貢献できる
- 8) ピアサポートの専門家（ピアスタッフ）は、リカバリーを志向するサービスにおいて重視される
- 9) アメリカでは、ピアスペシャリストというピアサポート専門家の制度化が進展している
- 10) アメリカ大統領委員会(2003)は治療と支援の目標として「リカバリー」を中心的なゴールに設定した
- 11) 以上に当てはまるものはない・承知していることはない

問2 次に貴院では、リカバリー志向の支援や活動、取組み（リカバリー志向活動）に対して、どの程度前向きに取り組んでいるとお考えになりますか。当てはまるもの1つに○印をつけてください。

- | | | | | |
|--------------|----------------|--------------|---------------|---------------|
| 1) 十分に取組んでいる | 2) ある程度は取組んでいる | 3) どちらとも言えない | 4) あまり取組んでいない | 5) まったく取組んでない |
|--------------|----------------|--------------|---------------|---------------|

問3 精神障害のある人へのリカバリー志向活動を、貴院やあなたが所属する部署で行うために重要と思うことがありますか。当てはまるものすべてに○印をつけてください。

- 1) 精神障害のある当事者との対等な関係性、信頼関係の形成
- 2) 精神障害のある当事者それぞれのチャレンジへの支援
- 3) リカバリーを経験した当事者（リカバリー経験者）と接する機会の提供
- 4) 精神障害のある当事者同士の交流の機会を多く設ける
- 5) 精神障害のある当事者同士の交流、ピアサポートへの支援
- 6) ストレngth志向、利用者の良いところに向けられる支援に力を入れる
- 7) 当事者本人の思いを実現できる実践を行う、科学的根拠に基づく実践の実施
- 8) コミュニケーションスキルの向上
- 9) 多職種での情報共有
- 10) リカバリー志向活動に経験をもつスタッフの充足
- 11) リカバリー志向活動に関するスタッフ研修の実施
- 12) スタッフ研修会にリカバリー経験者を講師とするセッションを設ける
- 13) その他（具体的に）
- 14) 以上に当てはまるものはない

問4 貴院のリハビリテーションや治療では、以下にあげる「リカバリー」への要素について、現在どれくらい力を入れていらっしゃるでしょうか。貴院全体の取組みとして最も近い数字それぞれに1つに○印をつけてください。

	1) 大いに力を入れている	2) ある程度は力を入れている	3) 多少は取り組んでいる	4) 全く力を入れていない
a.ピアサポートなど支援のつながりの構築や再構築	1	2	3	4
b.将来への希望や夢、肯定的で楽天的な考え方の重視	1	2	3	4
c.自分らしさの重視、自分らしい肯定的人生の意味の構築や再構築	1	2	3	4

	1) 大いに力を入れている	2) ある程度は力を入れている	3) 多少は取り組んでいる	4) 全く力を入れていない
d.生活の中の有意義な役割や目標の重視	1	2	3	4
e.当事者のエンパワメントの重視	1	2	3	4
f.当事者の自己責任の尊重	1	2	3	4

問5 前問のような各要素を踏まえた取り組みを、これから貴院では増やしていくことが必要だと思いますか。もっとも当てはまるもの1つに○印をおつけください。

- 1) 大いにそう思う 2) 少しそう思う 3) どちらとも言えない 4) あまりそう思わない 5) まったくそう思わない

問6 以下にあげる取組みは、代表的な「リカバリー志向サービス」として注目されているものです。これら取組みのうち、貴院で取り組んでいる活動がありますか。当てはまるものすべてに○印をつけてください。

- | | |
|------------------------|--|
| 1) 元気回復行動プラン(WRAP) | 8) 援助付き住居 (ハウジングファースト等) |
| 2) 疾病管理とリカバリー(IMR) | 9) 重複障害(物質使用と精神疾患の重複障害)のための統合治療 |
| 3) ストレngths志向のケアマネジメント | 10) 包括型地域生活支援プログラム(ACT) |
| 4) ピアサポートサービス | 11) 治療や支援の共同意思決定 (SDM/SHARE など) |
| 5) ピア支援者が運営する組織 | 12) 当事者と協働作成によるクライシスプラン (JCP、Advance Directives 等) |
| 6) IPS 援助付き雇用 | 13) その他 (具体的に:) |
| 7) 援助付き教育 | 14) 以上に当てはまるものはない |

問7 貴院では、リカバリー志向活動を進める上で、どのくらい困難を感じていらっしゃいますか。もっとも当てはまるもの1つに○印をつけてください。

- 1) 大いに困難を感じる 2) ある程度は困難を感じる 3) どちらとも言えない 4) あまり困難を感じない 5) まったく困難を感じない

付問1【前問で1)か2)の「困難を感じる」を選んだ方】それはどのような困難でしょうか。当てはまるものすべてに○印をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1) リカバリー志向活動に取り組む人材の確保 | 6) 多くのスタッフの意識がリカバリー志向活動に向かない困難 |
| 2) ピア支援者の確保 | 7) その他 (具体的に:) |
| 3) リカバリー志向活動に取り組む財源の確保 | |
| 4) リカバリー志向活動に取り組む知識・経験・ノウハウの乏しさ | |
| 5) 医療機関全体の組織的合意形成の困難 | 8) 以上に当てはまるものはない |

●●次にリカバリー志向活動に関連して、当機構が発行する『こころの元気+』のグループ活用の現状と可能性についてうかがいます●●

私たち NPO コンボが発行するメンタルヘルスマガジン『こころの元気+』は、精神障害のある当事者それぞれのリカバリー実現を、支援者・家族・市民そして当事者相互の支援などにより、みんなで協働して精神障害のある当事者を応援することを旨とした雑誌です (見本誌を同封しています)。

まず貴院における、現在の『こころの元気+』の活用状況をおうかがいします。

問8 あなたは、これまでにメンタルヘルスマガジン『こころの元気+』ご覧になったり、お読みになったことがありますか。当てはまるものすべてに○印をつけてください。

- 1) 雑誌の名前を聞いたことがある 2) 雑誌を見かけたことがある 3) 手に取ったことがある
 4) 読んだことがある 5) 所属する組織が定期購読している 6) あなた様ご自身が定期購読している(いた)
 7) その他 ()
 8) 存在を知らない。あるいは以上に当てはまるものがない

付問3【問11で1)~3)にご回答頂いた場合】どのように読み合わせ等グループ活用されているのか、工夫してい
らっしゃることがあれば、以下に具体的にご記入頂けると幸いです。

--

問12 貴院において、リハビリ志向活動を普及するために『こころの元気+』のグループ活用を進めることに
ついて、あなたのご意見をお伺いします。もっとも当てはまるもの1つに○印をつけてください。

1) 重要であり活用 を強化したい	2) 重要であり導入 を検討したい	3) 重要だが直ぐに 導入は困難	4) あまり重要性は 認めない	5) 全く重要性は認 めない
----------------------	----------------------	---------------------	--------------------	-------------------

問13 当機構では『こころの元気+』を、グループ・集団で活用していただく機会を増やす取組みを進めて行き
たいと考えています。このことについて、あなたのお考えをお聞かせください(当てはまるもの1つに○)。

1) 重要であり積極 的に協力したい	2) 重要であり協力 を検討したい	3) 重要だが直ぐに 協力は困難	4) あまり重要性は 認めない	5) 全く重要性は認 めない
-----------------------	----------------------	---------------------	--------------------	-------------------

●●『こころの元気+』電子版の発刊について●●

『こころの元気+』を今後もっと多くの方にお読みいただきたいと考え、2021年2月15日より『こころの元気+』
電子版を発刊いたしました (https://www.comhbo.net/?page_id=27864)。

問14 「こころの元気+」電子版をご覧になったことはありますか。当てはまるものに○印をつけてください。

1) 毎月読んでいる	2) 興味がある記事のみ 読んでいます	3) 電子版について知っ ていたが読んだこ とはない	4) 電子版について知ら なかった
------------	------------------------	----------------------------------	----------------------

問15 「こころの元気+」電子版の取組みについて、あなたのご意見をお伺いします。もっとも当てはまるもの1つ
に○印をつけてください。

1) 大いに期待して いる	2) ある程度は 期待している	3) どちらとも 言えない	4) あまり期待して いない	5) 期待していない
------------------	--------------------	------------------	-------------------	------------

付問1【前問で1)2)と回答した方】どのようなことを期待するのか、アイデアや工夫などがあれば、ご教示いた
けると幸いです。

--

●●最後に貴院の概要についてお伺いします●●

問16 貴院の種別と開設者は以下のどれに当たりますか。当てはまるものそれぞれ1つに○印をつけてください。

◎貴院種別: 1) 精神科病院 2) 精神科病床を有する病院 3) 診療所	◎開設者: 1)国 2) 都道府県 3) 市町村 4) その他公的開設者 5) 医療法人 6)個人 7) その他()
---	---

問17 貴院の設立年と職員数についてご教示ください。

設立年: 西暦 年 / 職員数: 常勤職員 名、非常勤職員 名

問18 貴院が併設する事業、関連して設置する事業・活動をご教示ください。当てはまるすべてに○印をつけくださ
い。

1)精神科デイケア 2)精神科ナイトケア 3)作業療法 4)訪問看護 5)障害者相談支援事業 6)他の障害者福祉サービス 7)老人保健施設 8)特別養護老人ホーム 9)精神科病院/診療所 10)精神障害の当事者会 11)精神障害のある人の家族会 12)以上のいずれも該当しない
--

問19 ご回答頂いたご担当者様のお立場(貴団体で)、職種等について当てはまるものいくつかでも○印をつけてください。

立場: 1)法人代表者 2)法人理事 3)医療機関代表者 4)部門責任者 5)主任等 6)その他()
職種: 1)医師 2)看護師 3)精神保健福祉士 4)作業療法士 5)その他()

●お忙しい中、調査にご協力頂き、誠にありがとうございました●